

令和 7 年度 第 3 回江北町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和 7 年 6 月 3 日（木） 1 4 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0
- 2 場 所 公民館 2 階講座室
- 3 出席者 下表のとおり

【構成員】

番号	役 職	氏 名
1	町長	山田 恭輔
2	教育長	吉田 功
3	教育長職務代理者	浪瀬 隆一
4	教育委員	重松 亜須香
5	教育委員	溝口 泰弘
6	教育委員	田中 薫

【こども教育課・学校づくり推進室】

番号	役 職	氏 名
1	課長（兼室長）	坂元 弘睦
2	課長代理	峯 清美
3	係長	野田 あゆみ
4	主査	山口 香奈
5	主任指導主事	内川 梨恵子
6	専門員	牟田 久俊

【事務局：総務政策課】

番号	役 職	氏 名
1	副町長	山下 宗人
2	課長	山中 博代
3	主査	古賀 元気
4	主事補	古賀 優梨愛

4 議題 教育課題解決に向けた取り組み状況について

○開会（山中課長）

○挨拶（山田町長）

- ・新年度の取り組みも4月・5月と2か月が過ぎている。今後の計画や予定が出てきているので、事務局からの報告を受け、意見を反映させて実施をしてもらいたいと思っている。

—教育課題解決に向けた取組状況について報告—

1. 学力向上について

（1）英検について

・英語検定

中学2～3年生：第2回英検（10月） 中学校で受験

中学1年生：第3回英検（1月） 中学校で受験

小学6年生：各自、学習塾などの準会場で受験

・英検対策学習会

期間：8月～11月（中学校で3～5級の級毎、延べ20時間実施）

対象：第2回英検（10月）受験生徒（希望者）

1次試験対策：（予定）8/5（火）、8/19（火）、9/10（水）、

9/26（金）

2次試験対策（3級のみ）：（予定）10/29（水）、11/5（水）

（2）イングリッシュキャンプ

日時：7月19日（土）14時～17時

場所：白木パノラマ孔園（コテージ）

対象：小学5年生～中学3年生

内容：英語だけ（日本語禁止）で活動する

- ・パスポートを作ろう

- ・世界の国々について学ぼう

- ・夢の国を作ろう

指導者：ALT等5名

（3）小中合同職員研修会

日時：8月5日（火）14時～16時

場所：江北中学校

講師：西部教育事務所指導主事「英語教育における小中連携（仮）」

【山田町長】

- ・事前アンケートによって自分が何級を希望するというのは分かるのか。
- ・ストレッチゴールがあった方がいいのではないかという話をしたと思うが。

【野田係長】

- ・過去問を生徒全員に配布し、英語の授業の中で周知してもらう予定。

【田中委員】

- ・英検の対策をするのは、学校の先生がするのか。それとも別で専門の先生がするのか。

【野田係長】

- ・学校の先生が授業とは別に対策を行う。学校の先生以外にも日本語 ALT の先生も一緒に行う。

【重松委員】

- ・英検合格対策学習会の対象者を「中学生希望者」と表記すると、希望しない人も出てくる。受験しなくていいなら受けないという生徒も出てくると思う。
「中学生希望者」ではなく「中学生全員」に変更し、学校から「何級でもいいからチャレンジして勉強しよう」という案内をしてもらうほうがいいのではないか。

—教育課題解決に向けた取組状況について報告—

2. 部活動の地域展開について

(1) 拠点校方式による合同部活動

- ・男子バスケットボール部で大町ひじり学園の生徒活動開始
- ・大町町との協議（5月12日）
- ・6部活動（男子バスケットボール、ソフトテニス、音楽、女子剣道、卓球、吹奏楽）について
合同部活動入部募集（5月13日～）申し込み0
合同部活動見学・体験会（5月26日～）

(2) 地域クラブ認定

今後の取り組み

- ・認定要件の決定
- ・認定地域クラブに対する支援策の検討
- ・説明会（団体、中学校教職員、保護者等）の開催

【山田町長】

- ・今の時点で入部希望がないなら、いざ入部希望者が出たときに対応できるように、仕組みを作ることが大事ではないか。
- ・地域クラブは、とにかく早く町として認定できる基準を作り、住民の皆さんに投げかける。その上で住民の皆さんが基準に合うようにしていかなければならない。ずっと認定基準を行政が握っておくのはいけない。認定基準を決めて住民の皆さんに知らせて認定を受けたいと言う所はその準備とかしてもらいう事に時間をかけてもらわないといけない。来年の4月からは認定のクラブがいくつかでも始まるという事にするならば準備期間をそれに合うように各団体クラブにしてもらわないといけないその時間を長くとらないといけない、となるとこちらがどういう団体に認定しようとしているかを言わないといけない、なかなか進んでないなと言う印象を持ちました。
- ・「部活動体験（見学）会についてのアンケート」を上手く活かすなら移動手段のところを気にしている生徒もいる。仮にそこがネックで部活に行けていないという事であれば大町町とも協議をしないとけない。場合によっては部活バスみたいなことも考えないとけないのではないかな。少なくとも部活動の時間は、保護者が対応できない時間帯なので実現の可能性はないと分かっていたと思う。

—教育課題解決に向けた取組状況について報告—

3. 教育支援センター「こあら」について

- ・5月の利用状況
- ・学校、外部機関との連携
 - 5/20 スクールソーシャルワーカー（SSW）との情報交換会
 - 〃 小中学校教育相談担当との情報交換会
 - 5/23 県不登校コーディネーターとの情報交換
- ※江北町教育支援センター運営協議会を開催（6月～7月予定）
- ・長期休暇中も開所

【山田町長】

- ・現在の利用状況は？

【坂元課長】

- ・相談が8名、その中で見学が5名、通所が3名。今来ている3名も見学をして、通所。

【山田町長】

- ・指導員さん2人孤軍奮闘ではないが、教育委員会が放置の様な形にならないよ

うに週1回はミーティングをして相談員さん達のお悩みも含めて教育支援センターの状況を事務局として把握する態勢を取りたい。毎週何曜日の何時から何時はミーティングでメンバーも決めておいて共有をする仕組みに入れてほしい。

【溝口委員】

・利用状況の小学校6年生Dさんは14日以降ずっと来てないが、その間小学校には通っているのか。それとも不登校なのか、状況は？

【山口主査】

・この期間中は学校には登校せず、家で過ごしている状況。指導員とスクールソーシャルワーカーの方で家庭訪問を行い、今後どうしていくか。というのを無理のない範囲で相談している状況。

【重松委員】

・5月の後半になると通級人数が減っている。最初は頑張って通っていたが、その後減ってきたのだろう。そこでこちら側からもアクションを起こしてもう少し通いやすい環境にしていってほしい。

【浪瀬委員】

・支援センターに来る子どもたちは少ない方が本当はいい。ここを利用する人数が多くなったら問題、少なくなったら良い傾向になっている。D君の場合の14日以降は登校していないのは、現在どういう状況なのかを事務局として把握し、学校と相談しながら運営をしていかなくてはならない。一応支援センターは設置しているが、支援センターに関わる子が少なければいい。と私は思う。

【山田町長】

・学校に来てない子が多いまま支援センターに来る子が少ないと意味がない。学校に行く子が多く、支援センターに来る子は少ない方がいいが、その間の学校に行けていなくてほかに居場所がないという子どもたちもいる。学校に来ていという事ならいいが。登校していないということなら支援センターに来てほしい。

【浪瀬委員】

・学校との情報交換をしているため、学校に来ていない子どもと学校の担任の先生、教育相談担当の先生が協力をしてそれが支援センターと繋がっていく形になればいい。

【山田町長】

- ・老朽化対策は6月に教育委員会とやり取りをしなくてはならないと思います。

○閉会（山中課長）